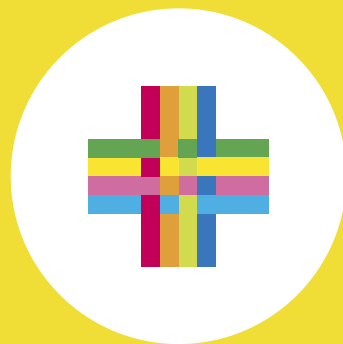


Be a player.



学びAID

2026年4月期  
第2四半期決算説明資料

株式会社 学びエイド(184A)  
2025年12月15日

1. 2026年4月期 第2四半期業績について

2. 施策の進捗状況について

3. Appendix



# 1. 2026年4月期 第2四半期業績について

## 2. 施策の進捗状況について

## 3. Appendix



## 業績の概況

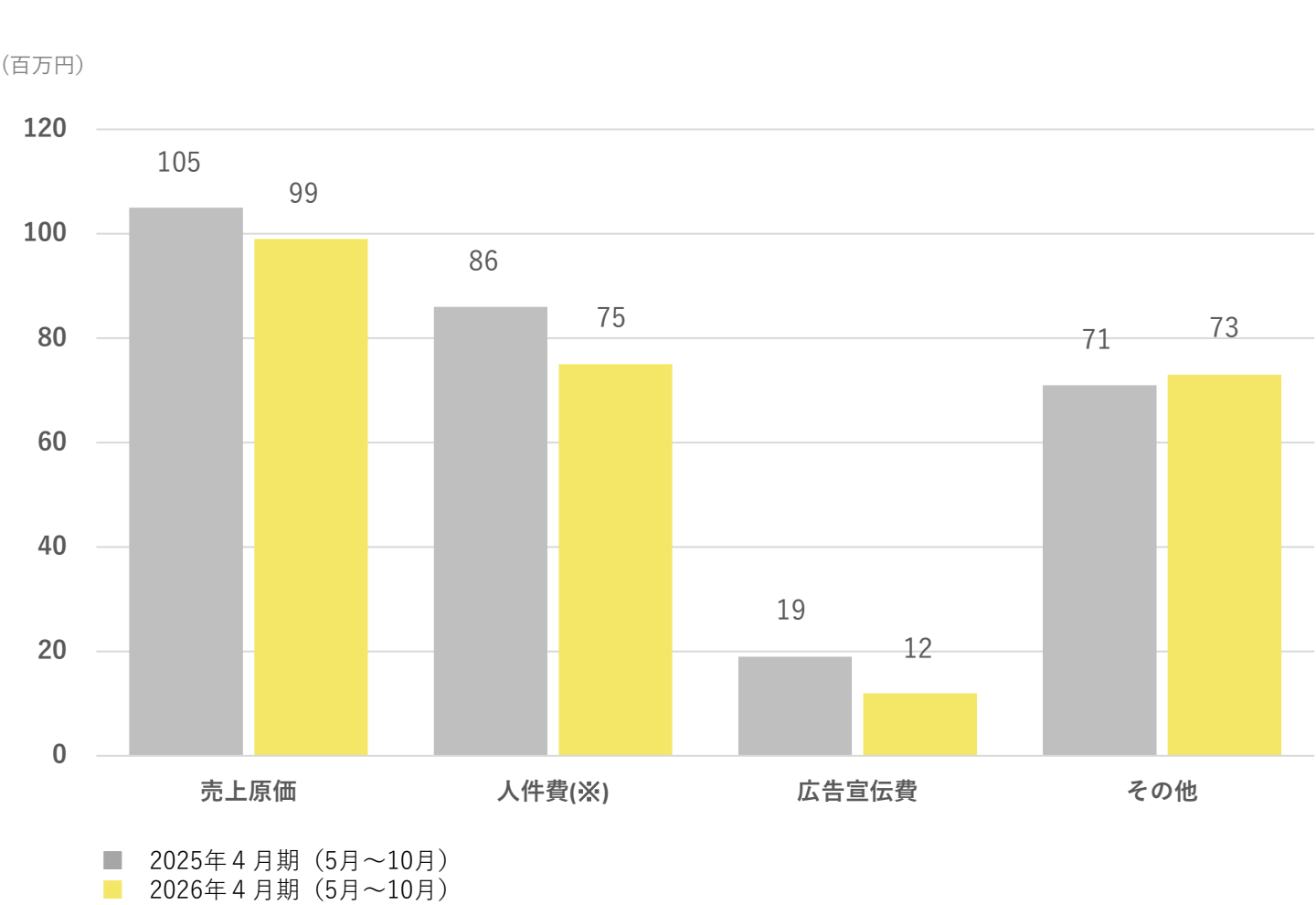
売上高は、学びエイドマスターforSchoolが堅調に推移し、前年同時期に比べ増加しました。営業利益は依然として赤字ではあるものの、費用については、前期にオフィス移転に伴う固定資産の加速度償却等の影響が今期には発生していないことや、業務委託等の外部費用の見直しを行い、前年同期と比べて赤字幅は縮小しており、収益構造の見直しが成果を上げつつあります。

結果として、第2四半期の業績は概ね計画水準に沿った進捗となりました。

(単位:百万円)	2025年4月期2Q 8月～10月実績	2026年4月期2Q 8月～10月実績	増減率
売上高	71	81	+14.5%
売上総利益	14	33	+134.4%
販売管理費	89	78	▲12.7%
営業利益／損失(△)	▲75	▲44	—
経常利益／損失(△)	▲76	▲44	—
当期純利益／損失(△)	▲53	▲44	—

## 売上原価・販売管理費について

売上原価はコストの見直しや映像制作のフローや効率化を図ったことで、前年同時期に比べ減少しています。  
また、販売管理費についても、外注先の見直し、広告出稿の見直しの成果が表れてきています。



### 増減 要因

#### 【売上原価】

システム開発等に係るコストが前期より減少していること、映像制作に係る一時的な著作権料等の減少により、売上原価は減少している。

#### 【人件費】

定期昇給による人件費の微増するも、2025年3月に実施した役員報酬減額の影響により、人件費全体の微減。  
新規採用に伴う人件費による増加予定。

#### 【広告宣伝費】

費用対効果を鑑みた施策の絞り込みを行う。  
特にEnterpriseサービスの新規案件獲得は、既存顧客からのリファラルによる案件獲得の活動へのシフト。リファラル活動による案件数が増加し、一定の効果。

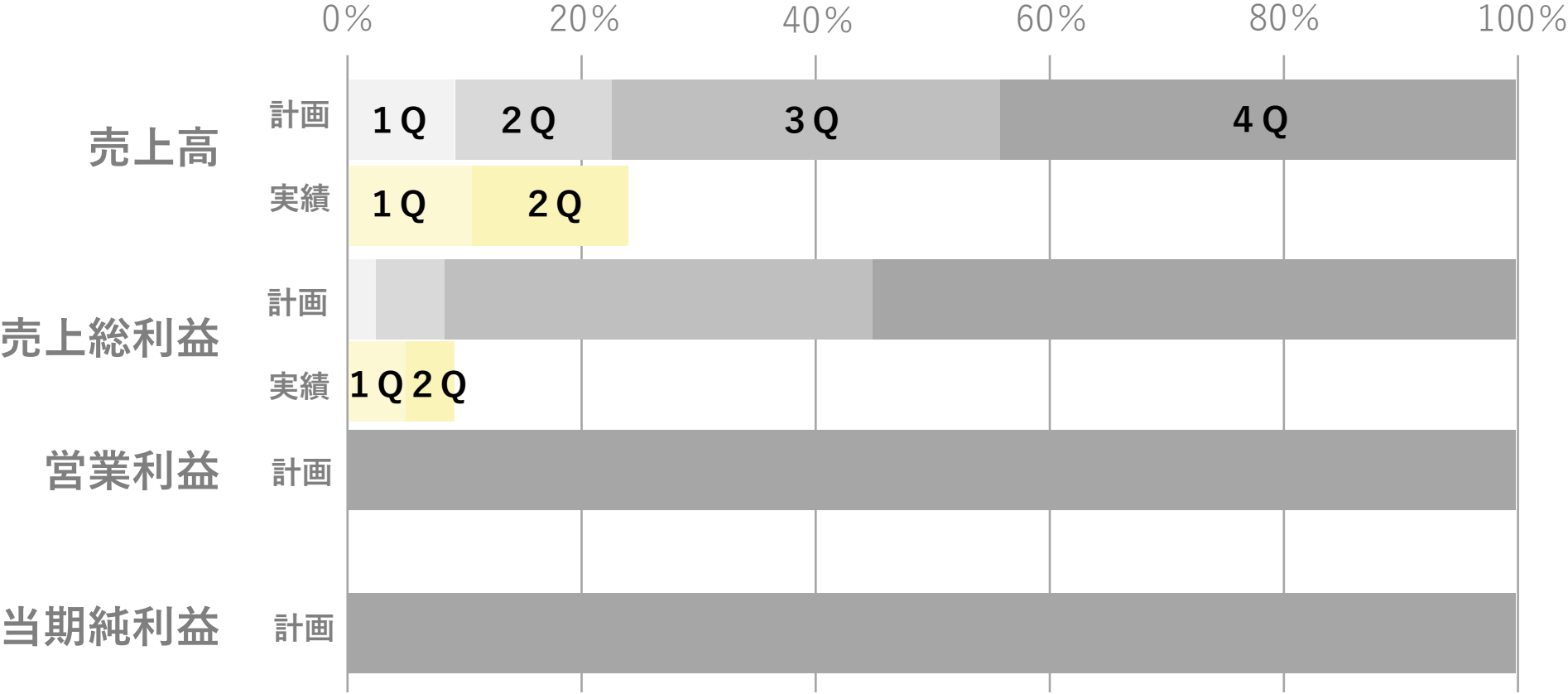
#### 【その他】

定時株主総会費用、監査報酬、オフィス移転に伴う賃借料の増加により、前期比から微増。

(※) 人件費は、給与手当、役員報酬、法定福利費、福利厚生費の合算

## 当期の進捗・業績の見通しについて

第2四半期の業績は計画通りに推移しております。  
売上高については、例年どおり第3四半期および第4四半期に偏重する傾向があり、2026年4月期も大きな変化はない見通しです。また、2025年5月に実施したNOVAホールディングスとの資本業務提携の効果については、当初は第3四半期からの反映を見込んでおりましたが、第2四半期から前倒して反映されており、早期のシナジー効果を発揮しております。  
利益については、上期から第3四半期にかけて赤字が継続する見通しですが、第4四半期での巻き返しを通じ、通期での営業黒字化を目指してまいります。



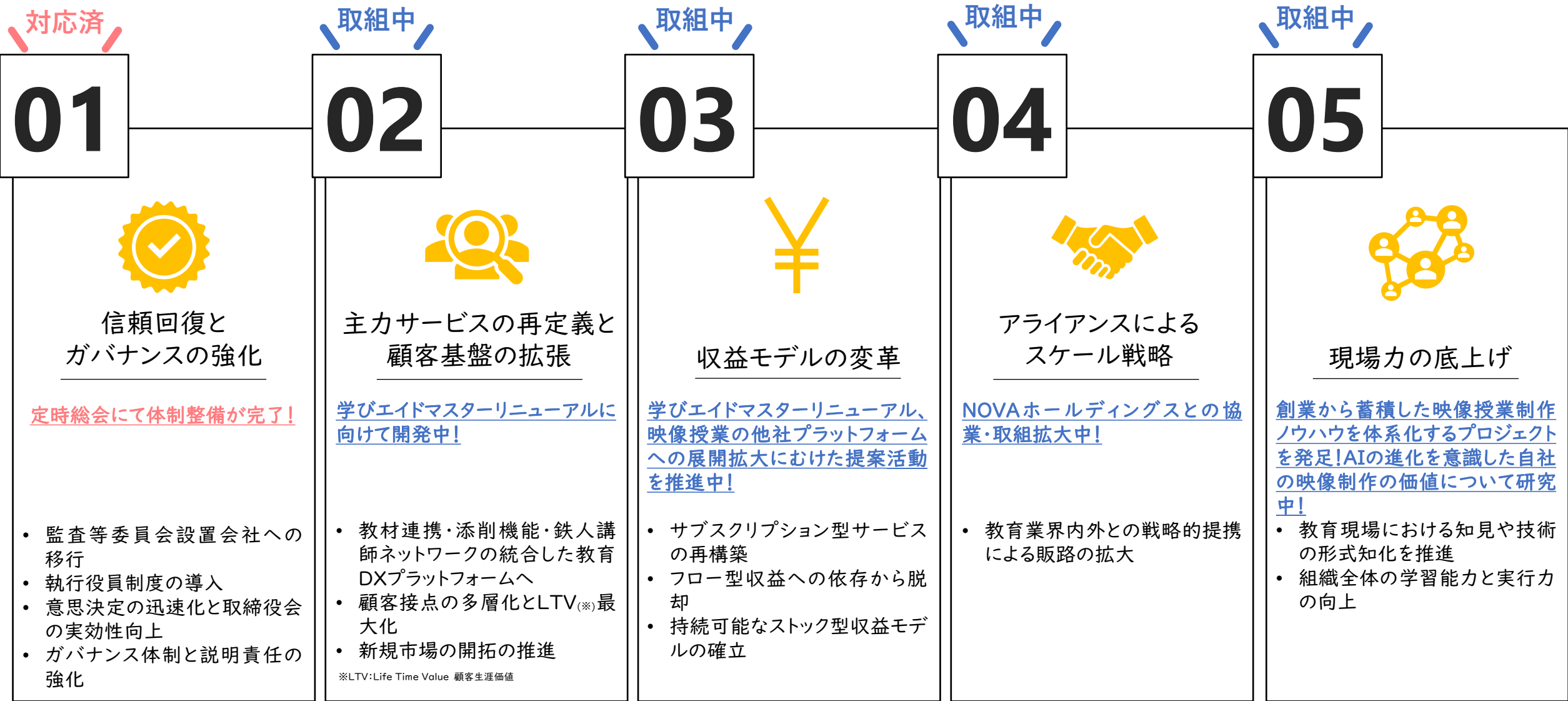
1. 2026年4月期 第2四半期業績について

2. 施策の進捗状況について

3. Appendix



2026年4月期より、下記の5つの成長戦略に基づき施策を推進しております。





2025年5月の資本業務提携以降、順調に取り組みが進んでおります。

さらなるシナジー効果発揮におけ、下期以降も継続的な取り組みにおけ強化してまいります。

“

学びエイドマスターを  
ITTO個別指導学院全校舎に導入

2025.10

“

鉄人講師×ITTO個別指導学院  
コラボレーション「ONE DAY 合宿」を  
実施

2025.11

“

塾運営管理システムの  
共同開発がスタート

2025.09

## Phase.1

2025.8～

グループ内学習塾への  
「学びエイドマスター」  
展開開始

## Phase.2

2025.8～

塾運営管理システム(TMS)  
の共同開発

## Phase.3

2026.8～(予定)

学習塾・教育事業者向けサービスの外販化  
語学教材の共同開発  
公教育領域の展開



新たなBtoB収益機会の創出を目指す

NOVA Holdings



学びAID

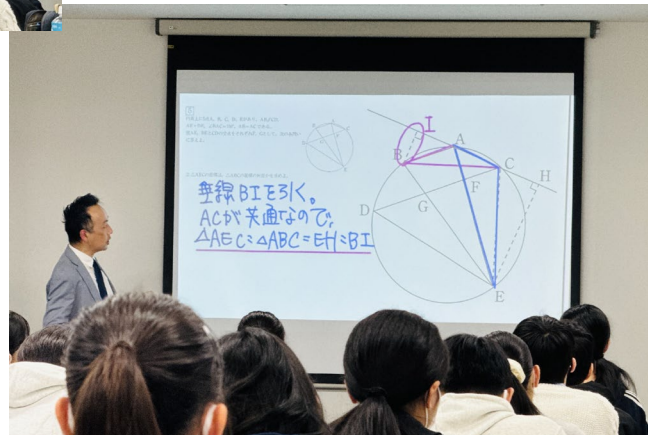
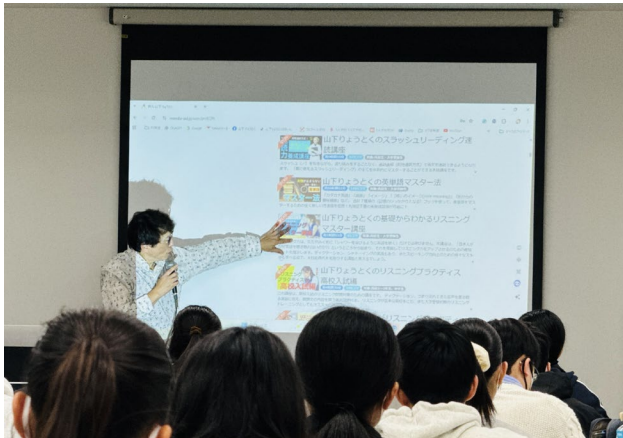




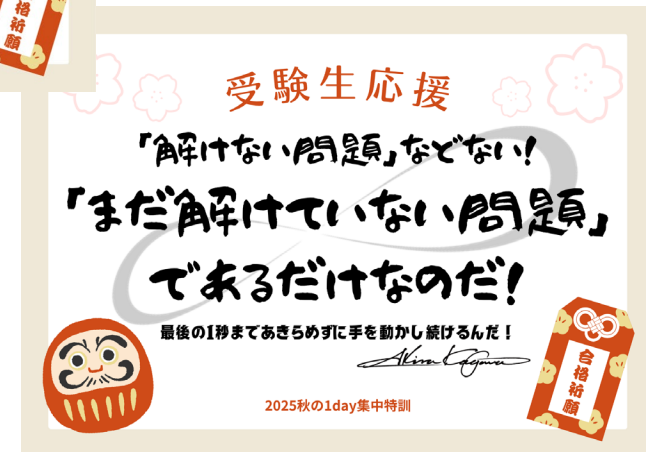
英語・数学の鉄人講師がライブ授業で、生徒の満足度は98%!  
今後もコラボレーション企画を展開予定

2025.11

## ▼英語・数学の鉄人講師によるライブ授業



## ▼鉄人直筆メッセージ入りグッズの配布



1. 2026年4月期 第2四半期業績について

2. 施策の進捗状況について

3. Appendix



## 株式会社学びエイド

設立	2015年5月
本社所在地	東京都文京区向丘二丁目3番10号
代表者	廣政 愁一
資本金	492百万円(2025年10月末時点)
事業内容	教育デジタル事業
従業員数	33名(15名)(2025年4月末時点)
累計制作動画本数	95,000コマ以上(2025年4月末時点)

※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者(契約社員、パートタイマーを含む。)は年間の平均人数を( )内にて外数で記載しております。

## 教えたいと教わりたいをていねいに紡ぐ

現状では教育の「意欲」の機会均等が達成されていないという課題を認識しております。

教育の「意欲」の機会均等は、「教えたい」という衝動がまずありきであり、  
「教えたい」という衝動があって、「教わった」ひとが、次の「教えたい」衝動へとつながり、  
教育の「意欲」の力強い循環を達成することになると考えております。

当社ではこの認識・考えのもと、「教育の機会均等を達成すること」、「教わるだけではなく、教えたい、というひとの場を提供すること」  
という大義を有しており、その大義に賛同してくれた鉄人講師(※)をはじめとする「教えたい」ひととのつながりが、  
当社のビジネスモデルを構築するに至った経緯であります。

代表取締役 廣政 愁一

※ 鉄人講師とは、当社が定めた名称であり、「当社の企業理念に賛同し、高い指導力を持つ講師であって、当社の審査を経て、鉄人講師として登録された者」を指す。

## サービスについて

映像授業を中心とした教育デジタル事業を展開しており、主力サービスは、学習塾向けの「学びエイドマスター」「学びエイドマスター for School」、教育関連事業者向けの「学びエイド for Enterprise」の3つに集約されています。これら3サービスで売上高の96.8%（2025年10月末時点）を占めています。

### 学習塾向け

#### 学びAID Master

「学びエイド」で提供する映像授業に加え、学習塾専用の「映像授業」と塾運営の効率化を支援する「管理機能」を提供。

#### 学びAID Master for Shcool

「学びエイドマスター」を提供するほか、提供するにあたっては学びエイドマスターの映像授業や管理機能を自社仕様へとカスタマイズすることが可能

### 教育関連事業者向け

#### 学びAID for Enterprise

教育関連事業者の教材（紙媒体）の「映像授業化」と映像授業化したコンテンツを配信するための「配信サービス」を開発・提供

売上高比率

**96.8%**

（2025年10月末時点）

### 一般ユーザー

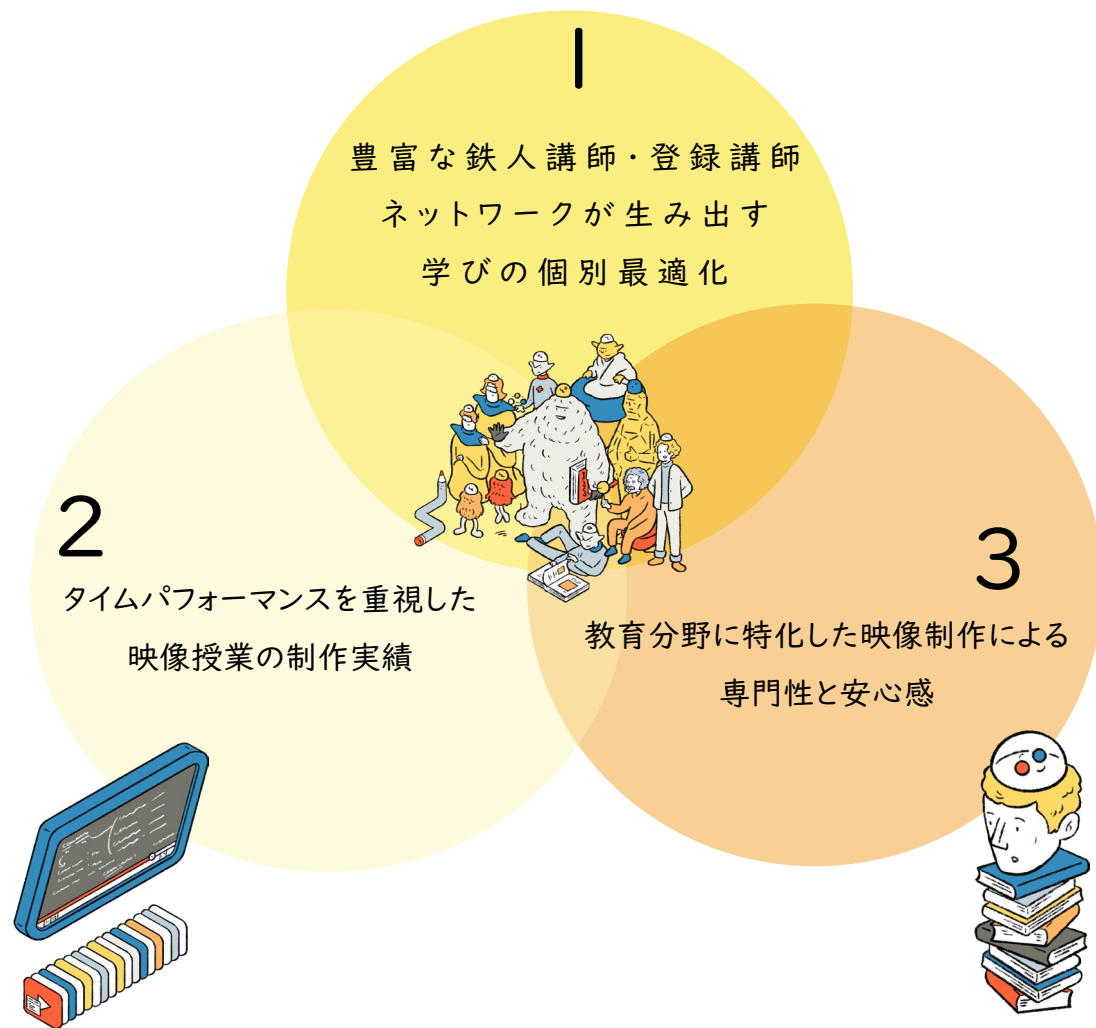
#### 学びAID Premium

無料会員登録で「映像授業」が1日3コマまで視聴可能。  
有料会員登録で「映像授業」が全科目見放題となることに加え、倍速再生、教材テキストの購入が可能。

### 直営学習塾



当社直営学習塾。  
「学びエイドマスター」を使用し、多様な映像授業と生徒一人ひとりに合わせた独自学習プログラムで効率的に学べる。



当社の競争力の源泉は、  
110名を超える鉄人講師・登録講師による

1. 個別最適化された映像授業
2. 学ぶ人の時間を最大限に活かすマイクロ講義形式
3. 教育現場の声に応じて磨き上げた制作ノウハウ

にあります。

これら3つをすべて備え、かつ一貫して提供できるのは  
学びエイドの強みです。

だからこそ、私たちは「教えたい」と「教わりたい」を紡ぎ、  
教育の未来を本気で変えていけると信じています。

## ■ 免責事項

- 本資料は、株式会社学びエイドに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。